様式第三十一の一の次に次の一様式を加える。

様式第32の３（第19条の２関係）

手　続　補　足　書

（令和　　年　　月　　日）

特許庁長官　　殿

（特許庁審判長　　殿）

１　事件の表示

出願番号

２　補足をする者

住所又は居所

氏名又は名称

（国籍・地域）

３　代理人

住所又は居所

氏名又は名称

４　補足対象書類名

５　補足の内容

６　提出物件の目録

〔備考〕

１　「事件の表示」の欄は、次の要領で記載する。

イ　特許権の存続期間の延長登録の出願については、「出願番号」に「特願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇」のように延長登録出願の番号を記載する。

ロ　国際商標登録出願については、「出願番号」に「国際登録第〇〇〇〇〇〇〇号」又は「〇〇〇〇年〇〇月〇〇日に事後指定が記録された国際登録第〇〇〇〇〇〇〇号」のように出願の番号を記載する。

ハ　審判に係属中のものについては、「事件の表示」の欄の次に「審判番号」の欄を設けて、「無効〇〇〇〇－〇〇〇〇」のように当該審判の番号を記載し、かつ、「出願番号」に出願の番号を記載する。ただし、審判の番号が通知されていないときは「審判番号」を「審判請求日」とし、審判請求をした年月日を記載する。

二　裁定に係るものについては、「出願番号」の記載に代えて、「特許第〇〇〇〇〇〇〇号裁定請求事件」、「特許第〇〇〇〇〇〇〇号裁定取消請求事件」のように記載する。

２　「住所又は居所」は、何県、何郡、何村、大字何、字何、何番地、何号のように詳しく記載する。

３　「補足をする者」又は「代理人」の欄の「氏名又は名称」（法人にあっては、「代表者」）の次に補足する者又は代理人の有する電話又はファクシミリの番号をなるべく記載する。

４　「補足対象書類名」の欄には、「審判請求書」、「意見書」のように補足する書類名を記載する。

５　「補足の内容」の欄には、「配列表を記録した磁気ディスク」、「見本（ひな形）」のように物件名を記載する。

６　「提出物件の目録」の欄には、第19条の２第１項第１号の規定により、磁気ディスクを提出するときは、次のように記載する。

配列表を記録した磁気ディスク　　1

７　その他は、様式第１の備考１から３まで、５、７、11及び13から17まで並びに様式第８の備考３及び４と同様とする。

様式第32の４（第19条の２関係）

【書類名】　手続補足書

（【提出日】　令和　　年　　月　　日）

【あて先】　特許庁長官　　殿

【事件の表示】

【出願番号】

【補足をする者】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【代理人】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【補足対象書類名】

【補足の内容】

【提出物件の目録】

〔備考〕

１　「【住所又は居所】」は、何県、何郡、何村、大字何、字何、何番地、何号のように詳しく記載する。国際意匠登録出願に係る国際登録の名義人にあっては、「【住所又は居所】」の次に「【住所又は居所原語表記】」の欄を設けて、国際登録簿に記載された文字と同一の文字を記載する。

２　「【補足対象書類名】」の欄には、「意見書」のように補足をする書類名を記載する。

３　「【補足の内容】」の欄には、「見本（ひな形）」のように物件名を記載する。

４　その他は、様式第１の備考１、２、15及び16並びに様式第７の備考１、２、６から８まで、11、12、14及び15と同様とする。